



<2>



# 有識者会議設置し分析

12月定例県議会で行われた自民党の代表質問で、台風13号による一宮川氾濫の検証会議が取り上げられ、その目的と今後の見通しについて質問が行われました。それぞれ、災害の検証と護岸工事の検証を行うために2つの有識者による検証会議が設けられ、一宮川に

おける治水対策や工事管理体制の検証作業に当たるとの答弁でしたが、これに関する山木義一県議は、県土整備常任委員会で「出来るだけ早く検証結果を出していただき、茂原市と協力して対策を早期に講じていただきたい」と県担当者に要望しました。

という、あつてはならないことが判明した。

では、浸水被害が発生したメカニズムや、計画を上回る降雨に対する今後の浸水対策のあり方を、「護岸工事検証会議」では、本来行わるべき工事の管理体制のあ

り方等を検証することとしており、それぞれ1回目の会議を開催したところです。今後は、第2回の会議開催に向け、1回目の会議で委員から頂いた意見を踏ま

てまいります。

# 宮川泡濫を検証

12月県議会代表質問

**質問** 台風13号の接近に伴い、県内各地で記録的な降水量が観測され、4年目の令和元年房総半島台風以来の大規模な被害が発生した。茂原市を流れる一宮川で

は、これまでの被害を教訓に河川改修に取り組んできましたところだが、仮縛切り堤防として設置していた大型土のうの一部を撤去したまま、台風当面を迎えていた

たことが判明したことから、災害の検証と護岸工事の検証を行うために有識者で構成する2つの検証会議を設置しました。

梨の一部の品種において、  
身が黒く変色する「日焼け」  
症状が発生するなど、記録  
的な猛暑が農業生産に大き  
な影響を及ぼした。

して、いくことが重要です。  
このため、県では、高温  
の影響を受けにくい水稻や

病害虫について、防除方法の開発や周知などを行つています。

**要望** 山本委員 一宮川の  
検証会議について要望  
する。  
我が党の代表質問でも質  
問したが、検証会議の見通  
しについて、県からの答弁は  
2つの検証会議の1回目の  
会議をそれぞれ開催のみで、  
委員からの意見を踏まえ、  
検証作業を進めていくとの  
ことだった。  
一方、この検証会議の結果  
を待たずして、茂原市から大型  
土のうの一部が無かつたこと  
に関連し、浸水深さを推計し  
たということで独自調査結果

# 「検証結果受けて 速やかな対策を」

県の検証会議の方は、委員の意見を踏まえながら、出来るだけ実際の現象に近い形で計算して、浸水のメカニズムを明らかにする、ということだろうと思うので、ある程度、時間がかかるのだろうと想像はできる。  
もちろん、出来るだけ正しい計算をしっかりとやって、ただくことが必要。その上で、出来るだけ早く検証結果を出していただき、茂原市と協力して対策を早期に講じていたくよう、改めて要望する。

防災・減災政策を充実するとともに、温暖化にも対応していくことが重要。そこでどうかがうが、県の温暖化への対応はどうか。

警察本部長 令和4年中の金属盗難の認知件数は823件で、前年に比べて1件数が大きくなり増加しているが、発生及び検挙状況はどうか。

5年10月末における認知件数は1337件で前年同期に比べて622件、87%増加しています。

検査状況については、令和4年中の検査件数は2335件で、前年に比べて57件増加し、検査率は28.6%で前年に比べて2.5ポイント増加しました。

特に、金属盗難のうち、太陽光発電施設からの銅線盜伐を対象とした盜難の認知件数が大幅に増加しているところ、処分先と思料される金

## 常任委員会で山本委員要望

使用自粛の徹底を図るとともに、花粉の使用実態を調査したところ、花粉が不足

地内での融通をはじめとする技術指導を行っているところです。

しないことから、今後、実行犯の捜査のほか、処分先の実態解明にも努めてまいります。